

## 環境を考え実践するまちに

水と緑の豊かな自然環境や動植物を守り、地球温暖化などの地球規模の環境問題を解決するためには、市民一人ひとりの環境配慮に向けた自主的な取り組みが必要です。

そのために、市民、事業者、市がそれぞれの立場で環境を考え、環境に優しい行動を実践していくことが求められています。

### ■エコシール制度

「エコシール制度」は、買い物袋の持参や過剰包装を断る「エコグリーン行動」と、ごみ拾い・草刈りなどの環境美化活動や市主催の講演会等に参加する「エコボランティア行動」を実行したときに、シールが交付される制度です。集めたシールは枚数に応じて環境にやさしい物品（報奨交換物品）と交換でき、協力加盟店ではシール 20 枚分で 100 円として利用できます。

→平成 20 年度以降も継続します。



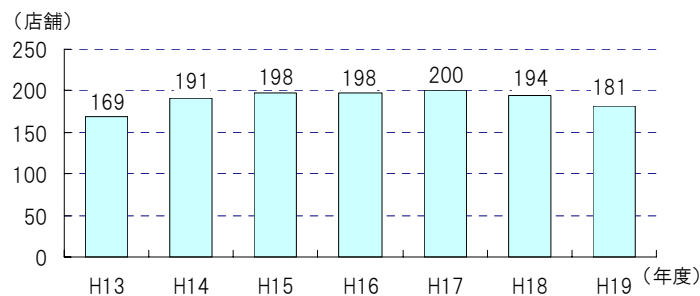
エコシール制度キャラクター  
『エコビット』

#### ① エコシール制度協力加盟店

レジ袋や包装を断る「エコグリーン行動」に対してエコシールを交付したり、エコシール 20 枚分で 100 円分として利用したりできる店舗を随時募集しており、平成 19 年度末現在の店舗数は 181 店舗です。（図 5-1）



図 5-1 エコシール制度協力加盟店舗



#### ② エコボランティア行動登録団体

環境に関するボランティア活動に取り組んでいる 5 名以上の団体を対象として、「エコボランティア行動登録団体」の登録をしています。団体登録をすると、「エコボランティア行動」を実行したときに、エコシールが交付されます。平成 19 年度末現在の登録団体は 90 団体です。（図 5-2）

#### ③ エコシール発行枚数

エコシール発行枚数は、環境意識の高まりなどにより年々増加しています。特に「エコグリーン行動」に対する交付が大幅に増えた影響で、平成 19 年度は、前年度対比約 28% 増加しています。（図 5-3）（表 5-1）

#### ④ エコグリーン行動

エコシール制度加盟協力店では、店舗ごとに決められた基準に基づきレジ袋や包装を断ると、エコシールが 1 枚交付されます。

平成 19 年度は、レジ袋削減意識の高まりにより、エコグリーン行動が大幅に増加しました。（表 5-1）

#### ⑤ エコボランティア行動

エコボランティア行動登録団体として登録を受けた団体が行うごみ拾いや環境美化活動に参加、または市主催の環境講演会などに出席すると、エコシールが 1 人 1 枚交付されます。

団体登録数は年々増加しているものの、エコシール交付枚数は平成 15 年度以降減少し、平成 19 年度には、わずかに増加しました。（図 5-2）（表 5-1）

図5-2 エコボランティア行動登録団体

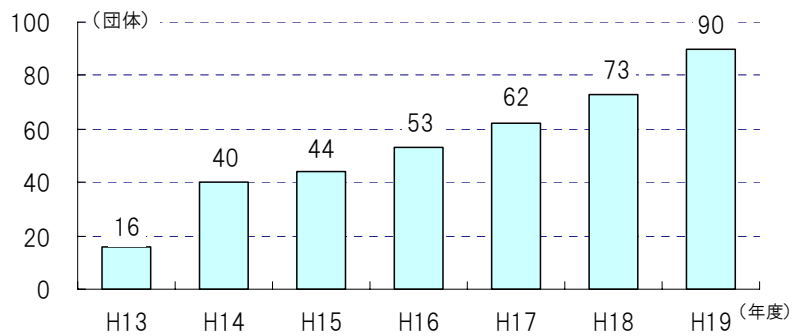


図5-3 エコシール発行枚数

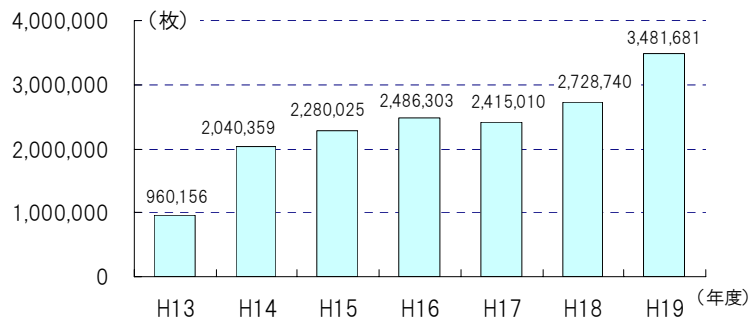


表5-1 行動別エコシール発行枚数の推移

年 度	エコグリーン行動	エコボランティア行動	合計
平成13年度	958,987	1,169	960,156
平成14年度	1,983,066	57,293	2,040,359
平成15年度	2,206,318	73,707	2,280,025
平成16年度	2,417,651	68,652	2,486,303
平成17年度	2,360,214	54,796	2,415,010
平成18年度	2,684,494	44,246	2,728,740
平成19年度	3,428,905	52,776	3,481,681

⑥ 報奨交換物品との交換

エコグリーン・エコボランティア行動によりエコシールを集めると、枚数に応じて環境にやさしい物品と交換できます。交換物品は9種類（平成20年3月末現在）あり、市役所、市内の支所及び出張所にて交換しています。報奨交換物品の種類及び交換数は年々増加しています。（表5-2）

表5-2 報奨交換物品交換状況

年 度	報奨交換物品(個)									
	三角コーナーストレーナー	グリーン券	エコバッグ	天然せっけん	浄化ネット	トイレトペーパー	ごみ袋	生ごみ水切り器	竹炭	100円利用券
交換枚数	100	80	60	30	20	20	20	20	20	20
平成13年度	6	29	27	48	111	209	1,143			5,968
平成14年度	39	273	209	239	470	1,177	3,085			40,759
平成15年度	50	447	325	217	412	3,103	4,231			58,535
平成16年度	61	703	288	320	371	3,982	4,312	6		75,473
平成17年度	81	910	317	275	474	4,571	4,156	15		87,454
平成18年度	117	1,110	339	278	499	5,747	4,515	7	155	90,556
平成19年度	134	1,345	339	245	529	8,200	6,466	8	283	106,773

## ⑦ エコシール制度キャンペーン

エコシール制度の周知及びマイバッグ持参の働きかけなどを行うために、平成13年度から毎年、エコシール制度協力加盟店舗であるショッピングセンターなどで実施しています。平成19年度は、未来環境創造戦士エコマンダーも出演し、子どもたちにも積極的に周知しました。

〔平成19年度〕

日時：平成19年6月23日（土）

場所：岡崎西武百貨店

内容：レジ袋削減度チェック、エコマンダー寸劇、シールタイプ写真撮影など

## ⑧ マイバッグ持参率調査

エコシール制度キャンペーンを始めとした普及啓発による効果を確認し、今後の啓発方法の検討につなげるために、平成16年度から毎年、エコシール制度協力加盟店舗において実施しています。平成19年度の持参率平均は、前年度対比3.8%増でした。（表5-3）

表5-3 マイバッグ持参率調査結果

年 度	持参率 (%)	調査店舗数 (店舗)
平成16年度	13.1	16
平成17年度	12.1	18
平成18年度	12.8	18
平成19年度	16.6	19

※持参率は調査店舗平均

## ■地域における環境学習

環境について自主的に学び、実際に行動するきっかけとしていただくために、地域住民、地域団体などを対象とした環境学習を開催しています。また要請があれば、事業所における研修等にも出向いています。講師は、市職員又は地球温暖化防止隊の会員が務め、参加体験型の学習の機会となるように工夫しています。（表5-4）

〔平成19年度〕主なコース：6種類及び野外コース（施設見学など）

参加団体：延べ20団体・1事業所

参加者：延べ836人

➡平成20年度以降も継続します。



表5-4 地域における環境学習〔平成19年度〕

コース	開催(回)	参加(人)	備考
家計にやさしい省エネ生活！「家計にやさしく簡単なエコの技！」	7	315	事業所1回150人含む
目指せ達人 ごみの減量と再利用「ごみの減量から分別・リサイクルまで」	5	224	
水環境と川の汚れ「健全な水循環における私たちの役割」	1	50	
ポイ捨てごみとモラル「ポイ捨てごみの現状と人のモラル」	—	—	
廃棄物の適正処理「ごみが起こす問題、廃棄物問題を考える」	1	20	
里山保全と自然体験学習「里山保全と自然体験を通じた環境教育」	—	—	
「野外学習」(施設見学を含む)	7	227	
計	21	836	

## ■未来環境創造戦士エコマンダー

これからの世代を担う子どもたちが環境に興味を持ち、環境教育に大切な“気づき”、“学び”、“行動する”のきっかけづくりとするために、平成18年11月、岡崎市の環境を守るニューヒーロー「未来環境創造戦士エコマンダー」が誕生しました。

環境に関するイベントでのショー、学校・保育園での環境教育の場などで、子どもたちに熱い思いを伝え続けています。

〔平成19年度〕

「未来環境創造戦士エコマンダー」ショー：9回

おかざきエコプロジェクトへの出演：23回 1,078人参加

学校で環境教室「エコマンダーの時間」：14回 879人参加



エコマンダーショー（2007環境展）

平成20年度以降も、岡崎市のニューヒーローとして、その高いPR性を活かし、子どもたちの環境学習の場で継続的に、また効果的に活躍していきます。

エコレッド家康

地球に増え続けるごみ問題に対し、特にチカラを入れている。熱いハートの持ち主。エコマンダーのリーダー。  
得意技は「11分別※乱れ斬り」



エコグリーン忠勝

豊かな自然を守り、動物が棲みやすい森づくりにチカラを入れている。優しい男だが技のキレはピカイチ。  
得意技は「間伐チョッパー」



エコピンク直

環境を愛する心を広めている。エコマンダー唯一の女性。キュートな笑顔でみんなにパワーを送り込む。  
得意技は「エコライフウェーブ」



エコブルー忠次

川の汚れを防止するなど、水質問題に特にチカラを入れている。常に冷静沈着。エコレッドの補佐的存在。  
得意技は「水をきれいにビーム」



エコマイエロー康政

地球温暖化問題や省エネなどに特にチカラを入れている。おっちょこちょいな一面もあるが、パワーはナンバー1  
得意技は「省エネアタック」



※本市の分別区分は、可燃ごみ、不燃ごみ、有害ごみ、発火性危険ごみ、粗大ごみ、紙製容器包装、ペットボトル、プラスチック製容器包装、空き缶、空きびん、生きびん

## ■おかざきエコプロジェクト

地域の自然を大切にする心や環境を守るために行動する力を育むことを目的とした、幼児の環境教育プログラム「おかざきエコプロジェクト」を実施し、幼稚園・保育園の環境学習を積極的にお手伝いしています。平成19年度は、3つのプログラムを用意し、計59回1,499人が参加しました。（表5-5）

平成20年度以降も継続します。



表5-5 おかざきエコプロジェクト〔平成19年度〕

コース	実施場所	内容・期待する効果	実施(回)	参加(人)
森のめいたんてい	おかざき自然体験の森	葉っぱから土になる仕組みを探って自然の循環に気づき、自然を大切にする行動につなげます。	35	741
川のいきものハカセ	園近くの川	身近な川の生き物を調査して川の汚れに気づき、きれいな川を守る行動につなげます。	15	337
リサイクルだいさくせん	園内	分別・リサイクルゲームで「きれいなまち」をつくり、ごみ拾い・分別・再利用の行動につなげます。	9	421

※対象：市内の公立保育園・公立幼稚園の年長児



森のめいたんていコース



川のいきものハカセコース



リサイクルだいさくせんコース

## ■こどもエコクラブ

こどもエコクラブとは、幼児、小・中学生、高校生なら誰でも参加できる環境活動のクラブで、環境省が主催しています。こどもたち自身の興味や関心に基づいて、自然観察・調査やリサイクル活動など、地域の中で身近にできる環境活動に取り組んでいます。(表5-6)

〔平成19年度〕登録状況：17団体・293人

→平成20年度以降も継続します。



川の生き物観察会

表5-6 こどもエコクラブの支援事業〔平成19年度〕

行事	川の生き物観察会	森のクラフト教室&自然観察会
開催日	平成19年8月16日(木)	平成19年11月11日(日)
会場	石原町室合内川(絆の森ピオトープ付近)	おかざき自然体験の森(ハツ木町)
内容	川の生き物を観察 指標生物を採取して川の汚れを調査	小枝や木の実を使ったクラフト作り ネイチャーゲーム・自然散策
参加者	12人	24人



森のクラフト教室&自然観察会

## ■小中学校における環境教室

小中学校における環境教育をより効果的に進めるために、市職員又は地球温暖化防止隊の会員を講師として派遣しています。

平成19年度からは、主なコース10種類に加え「エコマンダーの時間」コースを新たに設定しました。オリジナルキャラクター「未来環境創造戦士エコマンダー」と、主に体験型のゲームを通じて楽しく学んでいただくことを目的とし、環境への気づきを促し、実際にどんな行動をとることが大切かを提案しています。「エコマンダー」の5人にちなんで5つのコースを用意しています。(表5-7)

〔平成19年度〕主なコース：主なもの10コース

「エコマンダーの時間」5コース

実施回数及び参加者数：56回 3,578人

→平成20年度以降も継続します。

表5-7 小中学校における環境教室〔平成19年度〕

コース	実施(回)	参加(人)
我ら地球温暖化防止隊「地球温暖化のしくみと私たちの生活」	9	773
ごみとリサイクル「ごみ処理、ごみ減量、リサイクル」	4	466
川のごれ「川の汚れについて考えよう」	10	546
大気環境「空気の汚れを調べてみよう」	2	109
環境問題の今昔「公害から環境問題へ」	0	0
産業廃棄物ってなに!	0	0
ピオトープ「ピオトープって何?」	1	17
川の生き物から学ぶ川の汚れ「河川に生息する生き物と水質などの関係」	11	558
自然から学ぼう!「この森すべて自然体験フィールド!」	4	210
知っていますか?外来生物「昔からの生き物が危ない」	1	20
エコマンダーの時間 5コース*	14	879
計	65	3,492

\*エコマンダーの時間 5コース

エコレッドコース「キャンプの達人!!」、エコブルーコース「君が市長だ!!」、エコグリーンコース「つかめ命!!」、エコマイエローコース「アツイぜ地球!!」、エコピンクコース「MOTTAINAI made in Japan」



## ■総合検査センター環境啓発活動

### ① 夏休みこども教室

平成10年度から、夏休み期間中に市内の小中学校4～6年生を対象として、環境問題に関する意識の高揚を図るための学習教室を開催しています。(表5-8)

表5-8 総合検査センター夏休み子ども教室〔平成19年度〕

開催日	コース名	参加者
7月24日(火)	そらコース	25人
7月27日(金)	みずコース	25人
7月31日(火)	せんいコース	17人



② 見学会

平成16年度から、総合検査センターの施設を一般公開し、環境問題等への理解を深めていただくための見学会を開催しています。(表5-9)

→平成20年度以降も継続します。

表5-9 総合検査センター見学会〔平成19年度〕

来場者：296人

見学エリア	ビオトープ体験、パネル展示、乙川の生き物、クイズラリー
ちびっこ博士実験エリア	水のカラフルマジック、人の味覚VS先端機器、おもしろ電池づくり、博士なりきり写真撮影
工作エリア	手作りビー玉顕微鏡、はりがねアメンボ、プラスチックキーホルダー、染めもの体験、竹細工



■環境推進事業ポスターコンクール・塗り絵

ごみ、不法投棄などの生活に身近な問題から地球規模の環境問題まで、わたしたちは解決すべき様々な課題を抱えています。これらの環境問題について理解を深めていただくために、市内の小中学生を対象として、環境問題に関するポスターを募集しています。

また、幼少期からの環境学習は大変効果的であることから、市内の園児を対象として、塗り絵を描いていただいています。

ポスターコンクール特別賞のうちで、市長賞及び市議会議長賞の作品を、市のごみ収集車の側面にプリントしました。また、教育委員会賞の作品については、啓発物品(ウエットティッシュ)のパッケージにプリントしました。(表5-10)

→平成20年度以降も継続します。



市長賞



表5-10 環境推進事業ポスターコンクール・塗り絵〔平成19年度〕

ポスターコンクール	提出校	50校(小学校39校、中学校11校)	
	参加者	988人(小学生912人、中学生76人)	
	特別賞5人	市長賞	柴田 奈弥さん(大樹寺小学校5年)
		市議会議長賞	小島 沙記さん(城北中学校3年)
		教育委員会賞	稲垣 香奈さん(竜海中学校2年)
福島 日奈子さん(六名小学校6年)			
入選	95人		
塗り絵	提出園数	43園	
	参加者数	3,655人	



市議会議長賞



教育委員会賞



■自然保護活動者養成講座

失われつつある貴重な湿地や生物多様性の保全上重要な里山等の保全を図るために、自然環境に興味のある人を対象に、自然保護及び保全に必要な基礎知識の習得や保護活動において中心的な役割を担う人材の育成を目的とした講座を実施しています。(表5-11・12)

▶平成20年度以降も継続します。



第2回



第4回



第6回

表5-11  
自然保護活動者養成講座実施状況

年度	講座(回)	参加(人)
平成15年度	7	28
平成16年度	7	24
平成17年度	7	18
平成18年度	7	30
平成19年度	7	17

表5-12 自然保護活動者養成講座 講座内容〔平成19年度〕

講座	開催日	テーマ・内容
第1回	8月30日(木)	ホタルの現状と自然の変化 講義(市福祉会館) ホタルの生息状況とその特徴及び生息地における自然の変化について
第2回	9月 8日(土)	植物観察から考える自然保護 野外講座(北山湿地) 北山湿地の植物を観察し、そこに繁殖する植物の保全や自然保護について考える
第3回	9月13日(木)	昆虫の現状と自然保護との係わり 講義(市福祉会館) 岡崎に生息する昆虫の現状とその特徴及び自然保護について
第4回	9月22日(土)	水辺の生き物と市民生活との係わり 野外講座(男川) 実際に水辺の生き物を採取し、そこに生息する生き物と生態系及び市民生活との係わりについて考える
第5回	9月27日(木)	外来生物と自然保護 講義(市福祉会館) 岡崎に生息する外来生物の現状とその特徴及び自然保護について
第6回	10月 6日(土)	野鳥から見た自然保護 野外講座(おかざき自然体験の森) 実際に鳥を観察し、その食性と生息場所及び生態系や自然保護との関わりについて考える
第7回	10月11日(木)	自然保護と市民活動 講義(市福祉会館) 自然保護の必要性和それに伴う市民活動との係わりについて

■2008 環境フェア ～地球のために、できることからはじめよう～

環境に対する意識の向上及び周知のために、市内のショッピングセンター催事場などをお借りして、平成18年度から開催しています。土曜日に開催したこともあり、大変多くのかたに関心を持っていただくことができました。

〔平成19年度〕

日時：平成20年2月2日(土) 午前10時～午後4時

場所：イオンモール岡崎 セントラルコート

内容：風呂敷体験コーナー

『エコピット』と撮ろう！プリントシール作成コーナー  
「未来環境創造戦士エコマンダー」ショー

エコマンダーと環境クイズ

パソコンによる省エネ診断

省エネグッズの展示・啓発

省エネ宣言

温暖化啓発ビデオ上映

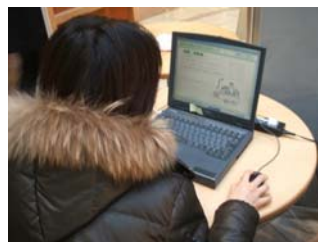
エコシールハンター登録

マイバッグキャンペーン

レジ袋削減度チェック

おかざき水とみどりの森の駅紹介

木製バッジ作り



省エネ診断



エコマンダーショー



木製バッジ作り

▶平成20年度以降も継続します。

## ■環境シンポジウム 2007

市民や事業者の皆様の環境意識を高めていただくために、毎年6月の環境月間に合わせて開催しています。

〔平成 19 年度〕

日時：平成 19 年 6 月 30 日(土)午前 12 時～午後 5 時

場所：岡崎市せきれいホール

内容 ①シンポジウム

環境功労者への感謝状授与（表 5-13）

第 1 部 基調講演

『空を見よう』講師／石原 良純 氏

〈俳優・タレント・気象予報士〉

第 2 部 地球温暖化防止隊

『一緒に考えよう 地球温暖化』

標語募集優秀作品 表彰状授与（表 5-14）

第 3 部 トークセッション

『地球温暖化に沈む国ツバルから地球環境問題を考える』

神保 哲生 氏〈ビデオジャーナリスト・立命館大学産業社会学部教授〉

マエキタミヤコ 氏〈クリエイティブディレクター〉

※今回のシンポジウムのために神保氏が編集した「地球温暖化に沈む国ツバル」の映像を上映しました。

②地球温暖化防止隊体験コーナー（ホール2階）

人力発電、自転車発電、省エネ診断、エコドライブ講座、風呂敷講座、エコすごろく

▶平成 20 年度以降も継続します。



基調講演



地球温暖化防止隊



トークセッション



体験コーナー

表 5-13 環境功労者 感謝状授与

	内 容
おおだの森保護事業者会 「山留舞会（やるまいかい）」	おおだの森の維持、保全、育成を図ることを目的として、間伐、下刈り、植樹等の作業、森の清掃、保全、育成などのボランティア活動を積極的に行っています。また、環境保全を目的とした団体を受け入れ、下刈りや植樹の支援を行うなど、広く一般市民への自然保全の啓発意義も十分に果たしています。
岡崎市立東海中学校	環境省レッドデータブックの絶滅危惧種である「カワバタモロコ」保護活動を生徒たちが始めました。長年にわたり保護活動を続けており、現在では、学区住民や小学校にも保護活動が広がっています。この活動は広く一般への自然保護の啓発意義も十分に果たしています。
株式会社ユーストア	包装物の削減と環境ボランティア活動の促進を目的としたエコシール制度において、制度開始間もなく加盟しています。包装物の削減を図るとともに、エコシールの交付についても著しい功績が見られます。

表 5-14 標語募集優秀作品 表彰状授与

	作品
最優秀賞	「見直せば まだまだ とめれる 温暖化」
優秀賞	「私にもできるストップ！温暖化」 「次の世代 思う気持ちが第一歩」 「聞いて地球の声考えて今の僕等の生活を」 「温暖化 かえられるのは 自分たち」 「今すぐに できることから やっていこう」



## ■こども環境フォーラム

将来を担う子どもたちの環境意識の向上と環境活動の推進を図り、日頃の活動の成果を発表する機会とするために開催しています。

平成19年度は、地元出身のアウトドアタレント 鉄崎 幹人氏を迎え、小中学生の発表について講評をいただくなど、内容をより充実させました。

〔平成19年度〕

日時；平成19年12月15日（土）午後1時30分～3時30分

場所：岡崎市せきれいホール

内容：環境推進事業ポスターコンクール入賞者 表彰状授与  
事例発表（市立宮崎小学校、市立東海中学校）

鉄崎 幹人 氏 講演

未来環境創造戦士エコマンダーショー



鉄崎氏の講演



平成20年度以降も継続します。



### 宮崎小学校

『宮崎の自然との共生を考える宮崎っ子』  
～ぼくたち、わたしたちにできる愛鳥活動を通して～

宮崎小学校は岡崎市の最も東に位置し、近くには本宮山県立自然公園やくらがり溪谷など、標高789mの本宮山のふもとのもとも恵まれた自然環境の中に学校があります。そして、学区を流れる清らかな男川、豊かな緑の中で年間を通して56種類もの野鳥が観察されています。また、山里では鹿や猿、アオバズクの鳴き声も身近に聞くことができます。

本校の特色の一つとして愛鳥活動があります。昭和49年に愛鳥モデル校の指定を受けて以来、野鳥の保護、営巣調査、親子探鳥会などの愛鳥活動を特色ある学校づくりの柱に位置づけ、全校で取り組んでいます。愛鳥活動は、「知る活動」「守る活動」「広げる活動」の3つの活動を柱に年間の活動をすすめています。愛鳥活動の発表の場として毎年8月に、愛知県野生生物保護実績発表大会に参加していますが、今年度まで8年連続で愛知県知事賞を受賞することができました。さらに今年5月に、瀬戸市で開催された全国野鳥保護のつどいにおいては、これまでの愛鳥活動の成果が認められ、環境大臣賞を受賞しました。



### 東海中学校

『東海の自然を未来へ』

東海中学校は、緑に囲まれたすばらしい環境に恵まれています。学校の裏には緑豊かな山地があり、ウグイスの鳴き声などもよく聞こえてきます。学区には、ヒメハルゼミ、タガメ、ギフチョウなど、ほかではあまり見ることのできない、希少な生物も数多く生息しています。平成3年、学区にあるため池に、絶滅危惧種であるカワバタモロコが生息していることが分かりました。また、この池が工業団地造成のために埋め立てられることも分かり、種の保存のため学校にモロコの池を造成して移植する活動を始めました。以来16年間に渡り、自然科学部が中心となり、先輩から後輩へと、保護活動が引き継がれています。学区の河川の水質調査や産卵条件の研究にも取り組んでいます。私たちはカワバタモロコを通して、多くの生物がのびのびと暮らせる豊かな自然を、未来につなげていきたいと願っています。



## ■2007 環境展

環境に対する意識の向上とPRのために、「秋の市民まつり」で開催しています。地球温暖化防止コーナーでは地球温暖化防止隊が主体となって、省エネ診断、風呂敷講座などを行いました。また、メインテント屋外では、エネルギー関連事業者である中部電力株式会社及び東邦ガス株式会社のご協力により、地球温暖化防止に関連するコーナーを設けていただきました。

〔平成 19 年度〕

日時；平成 19 年 11 月 3 日（土）、4 日（日）午前 10 時～午後 4 時

場所：乙川殿橋下流右岸

内容：「未来環境創造戦士エコマンダー」ショー：各日 2 回

各ブースを巡る環境クイズラリー：3,000 名

①ひろげよう！みんなの心に『3R』！

リサイクル自転車の展示・販売ほか

②水道がうるおす日々の健やかさ

水道に対する市民意識調査（回答者には「岡崎の水 額田仙水」進呈）、スイットくんダーツほか

③『もったいない』を感じよう！

エコシールハンター登録、キャラクターワッペン作り、パソコンを使用したレジ袋診断、エコシール制度キャラクター『エコピット』と撮ろう！プリントシール作成ほか

④空から発見！不法投棄

廃棄物処理及び浄化槽に関するクイズほか

⑤きれいなまちにしよう！

三角コーナー、ストレーナーあっせん（生活排水対策）、標準悪臭の体験ほか

⑥顕微鏡をつくろう！

簡単な顕微鏡作成ほか

⑦北山湿地パネル展

パネル展示コーナー

⑧行こう！「水とみどりの森の駅」

木のキーホルダー工作、竹笛工作、ひつつき虫ダーツほか

⑨美しいみどりのまちづくり

間伐材を利用したミニクリスマスツリー工作、選定枝等をリサイクルしたウッドチップの無料配布ほか

⑩見直せばまだまだとめれる温暖化

パソコンを使用した省エネ診断、風呂敷の使い方実演コーナー、映像を活用したエコドライブ啓発コーナー、自転車発電体験コーナー、環境紙芝居ほか

中部電力株式会社地球温暖化防止コーナー

太陽光発電で動く鉄道模型、水力・火力発電の仕組みがわかる模型展示、わたしの環境宣言ほか

東邦ガス株式会社地球温暖化防止コーナー

天然ガスに関するクイズラリー、天然ガス自動車（NGV）に関するビンゴ大会ほか



スイットくんダーツ



ひつつき虫ダーツ



ミニクリスマスツリー工作



風呂敷の使い方講座



環境紙芝居

平成 20 年度以降も継続します。



わたしの環境宣言  
(中部電力株式会社)



天然ガスに関するクイズラリー  
(東邦ガス株式会社)